

# GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

## 1. 早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

a.	分類	産業競争力基盤強化商品
	対象	グリーンケミカル
b.	分類	低炭素水素等
	対象	アンモニア
c.	分類	産業競争力基盤強化商品
	対象	グリーンケミカル

## 2. 具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

a.	グリーンケミカル
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	グリーンメタノール（e-メタノール）を調達し、当社が原料として使用する天然ガス由来のメタノールから切り替えることで当社メタノール誘導品の環境価値向上を図ります。環境価値の高いメタノール誘導品の供給はその製品を原料として利用する需要家製品の環境価値向上にもつながることから、サプライチェーン全体でのGX製品市場の活性化や需要創造に貢献していきます。 また調達したグリーンメタノールの一部を需要家に供給することにより、同様にメタノール需要家での環境価値向上、GX製品市場の活性化と需要創造に貢献していきます。
b.	アンモニア
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	グリーンアンモニアを調達し、当社が原料として使用している天然ガス由来のアンモニアから切り替えることで当社アンモニア誘導品の環境価値向上を図ります。環境価値の高いアンモニア誘導品の供給はその製品を原料として利用する需要家製品の環境価値向上にもつながることから、サプライチェーン全体でのGX製品市場の活性化や需要創造に貢献していきます。
c.	グリーンケミカル

対象行動	宣言対象製品の製造
概要	当社は消化ガスからグリーンメタノール（バイオメタノール）を製造し、市場に供給しています。バイオメタノールは高い環境価値を備えた製品であり、その製品を原料として利用する需要家製品の環境価値向上にもつながることから、サプライチェーン全体でのGX製品市場の活性化や需要創造に貢献していきます。

### 3.サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画や、製造業者と廃棄物リサイクル業者との事業連携を自ら進めるとともに、再生材の調達を積極的に検討することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

### 4.温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

a.	グリーンケミカル
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

b.	アンモニア
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

c.	グリーンケミカル
----	----------

削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

## 5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

a.	グリーンケミカル
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

b.	アンモニア
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

c.	グリーンケミカル
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

## 6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

適用範囲	自社単体
------	------

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

2025/11/7

三菱ガス化学株式会社  
取締役 専務執行役員 北川 元康